

## 労働千葉、即日(7/30)臨調会館に抗議行動を展開

7月30日、臨調は「基本答申」を発表した。この「基本答申」こそ、国鉄労働運動解体にむけた、支配階級の全体重をかけた攻撃である。労働千葉は、直ちに「抗議声明」を発し、30日午後、臨調会館に対する断固たる抗議行動を展開した。同時に、全支部で職場集会を開催し、臨調を弾劾し、対決して向いぬく意志一致をかちとった。全この組合員の皆さん、「臨調基本答申粉碎・57/1ダイヤ改悪反対」仲裁決定完全実施要求、8.4労働千葉総決起集会の大結集をかちとり、総力をあげて反撃にうつってほしい。

### 臨調・当局の先兵「労働本部」革マル弾劾!

労働本部は、労働本部「行政改革の理念」、労働本部「行政改革の基本的方針」、労働本部「改革の準備と今後の検討課題」、労働本部「改革の準備と今後の検討課題」の三部から構成されており、その内容はきわめて反動的な答申である。

特に、労働本部5章で、三公社とりわけ国鉄に対する「分割・民営化」さらには「新形態移行までの間、緊急に取るべき措置」として、職場規律の確立、新規採用の停止、合理化促進、乗車証の廃止、期末手当業積手当の抑制...等々に見られるように徹頭徹尾、国鉄労働運動・労働組合破壊の内容で貫かれている。

労働千葉は、即日、東京永田町の臨調会館に於いて決起し、基本答申弾劾の抗議行動を展開するとともに、臨調と国鉄当局およびその反動的先兵「労働本部」革マルに対する怒りをこめて、7月30日、全支部で一斉に抗議の職場集会をおこなった。

#### 全支部で抗議の職場集会

佐倉支部は、80名の組合員を結集して、職場集会を開催し、臨調基本答申反対として今後の取り組み及び現在御争モデル拠点として積み上げている職場生産点からの創意的反撃の向いを一層強固にしていくことを確認した。

#### 木更津

木更津支部職場集会は、12時30分より

枕岡区講習室において35名の組合員のほか、基本答申粉碎、57/1ダイヤ改悪止、合理化粉碎を確認、また支部として口要員の確保、37形式電動車の投入に対する取り組みをおこなない、奥原支部長の田結ガンバローで終了した。

#### 成田

成田支部は16時より、拡大執行委員会を開催、各部署報告をうけ、奥川委員長が本部を代表して「基本答申弾劾、これいかに対決するの」の方針を提起。総力をあげた向いに決起することを確認し、意欲的な情宣活動に入っている。

#### 新小岩

貨物合理化の集中する新小岩支部では、緊急抗議集会に組合員40名が結集し、基本答申に關する討論の中から、これに對決していく方針を確認した。

#### 勝浦

勝浦支部では、勤務外組合員の結集で抗議集会。緊急11項目攻撃との対決、新採ストップ攻撃等、討論が集中し、全員でとことん向うことを確認した。

#### 館山

12時より、40名の組合員を結集して抗議集会。川名支部長から、臨調攻撃の狙いが国鉄労働運動解体に絞られている事等の報告をうけ、支部全員で向うことを確認。また集

会後は、水野副委員長も交え、じっくりと懇話し、今後の向う体制をうち固めた。

#### 千葉乾

乗務員分科委員会を開催し、職場慣行、既得権利奪取攻撃に對決して向うことを中心に確認。

#### 幕張

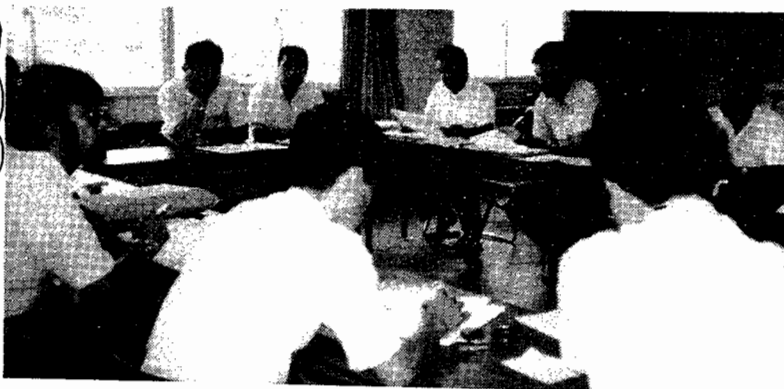
12時より、90名の組合員を結集し、現場生産点の向いで対決する事を確認。支部として、作業工程の見直し、向いを強めていくことを確認した。

#### 津田沼

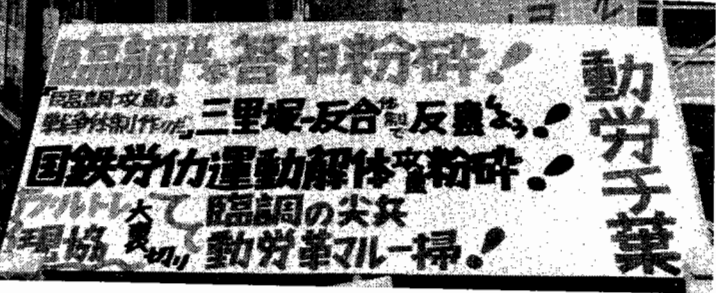
地上勤務と乗務員との間に於いて抗議集会。労働本部革マルのブルトレの裏切りに怒りが集中。国鉄の向いを支持し、仲間強化を確認。

#### 銚子

31日に執行委員的取組み、8.4集会への全力のとりくみを確認した。



職場に根を下した、原則的な向いが毎日、積み上げられている。職場の支配権は、断じてゆすりはしない。



#### 訂正

『日刊』ヤニ二二号(82付)の文中、誤植がありましたので、お詫びして訂正いたします。労働本部革マルが、当局に返答を約束したブルトレ放言は、正確に『742分三三二〇万円』です。